

事務事業評価 事業説明資料
【焼山地区活性化】

農林商工部 商工観光課

焼山地区活性化計画

- ・平成26年度に基本計画を策定・公表
- ・十和田湖・奥入瀬溪流の玄関口である焼山地区の魅力向上が、他の地域へのさらなる誘客に発展するものと位置付け
- ・観光産業の振興、雇用の場の確保を図ることを目的

「3つの柱」と「地域に存在する要素」を融合し、
『焼山地区の自然と景観を活かした活性化』

3つの柱

花

温泉

アート

地域に存在する要素

八甲田

十和田湖

奥入瀬
溪流

地域産品

街

樹木

人

宿泊

飲食

雪

スキー場

遊休地

焼山地区活性化計画

八甲田・十和田湖・奥入瀬溪流の交通の要衝という焼山地区の地の利を生かし、独自性を持ったユニークな手法で、花とアートと温泉を活用し、地域の魅力向上を図る。



千年のときが生み出した自然と歩む、焼山地区独自の計画

地域資源の最大活用・地域の魅力向上
(十和田湖温泉スキー場)

- 施設整備・サービス充実・イベント実施などによる魅力向上(通年)
- 自然をテーマにしたアート整備・プログラム整備(春夏秋)
- 花を活用した景観整備

景観・街並み整備・地域の魅力向上
(十和田湖温泉郷)

- 観光案内・バスターミナル等の観光拠点の整備
- 緑化・花・サインなどによる景観整備
- 地域資源とアートを活用した経済活動・市民活動の促進

エコツーリズム促進
(奥入瀬溪流館・湧水館)

- エコツーリズム関連の活動拠点整備
- エコツーリズム啓発活動(展示等)整備

地域の魅力向上 (第二温泉郷)

- 温泉資源の活用

地域の魅力向上 (湯ノ台)

- 自然環境の活用

x アート(創造性)

アート(創造性)によって、この地域独自の活動・景観・表現を生み出す

焼山地区
独自の計画

自然、地域資源を中心に、八甲田・十和田湖・奥入瀬溪流とのイメージ統一を図る。

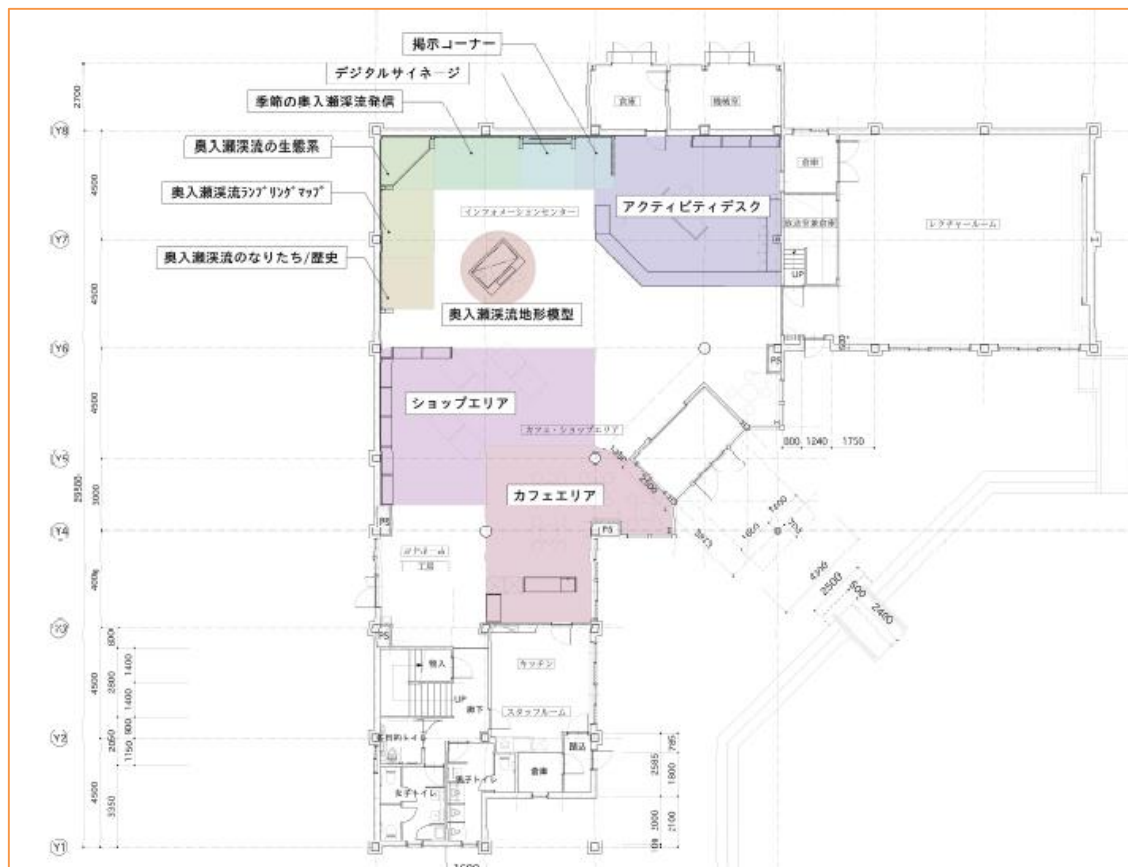
令和元年度焼山地区活性化事業費実績

	合計 (千円)	内訳 (千円)	備考
①奥入瀬溪流館改修 基本計画、基本設計、実施設計業務	9,503	5,022	基本計画、基本設計
		4,481	実施設計
②十和田湖温泉スキー場芝桜維持管理 業務	3,795	3,795	
③十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画 策定業務	2,860	2,860	
合計	16,158		

令和元年度の実施事業

① 奥入瀬溪流館再整備基本計画・基本設計・実施設計

奥入瀬溪流館を、自然散策のガイド拠点として位置付け、再整備するための基本計画から実施設計までを行った。

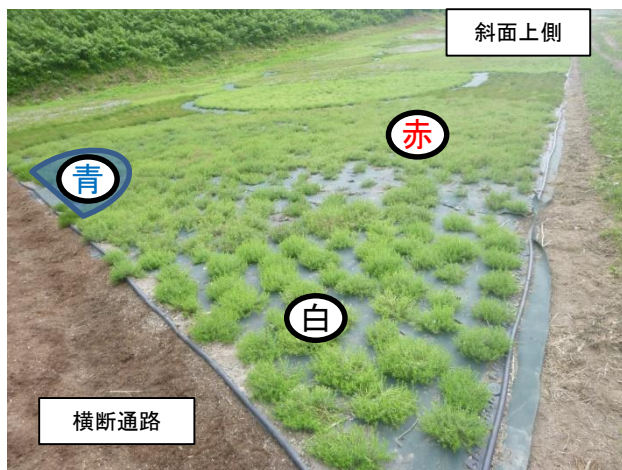


令和元年度の実施事業

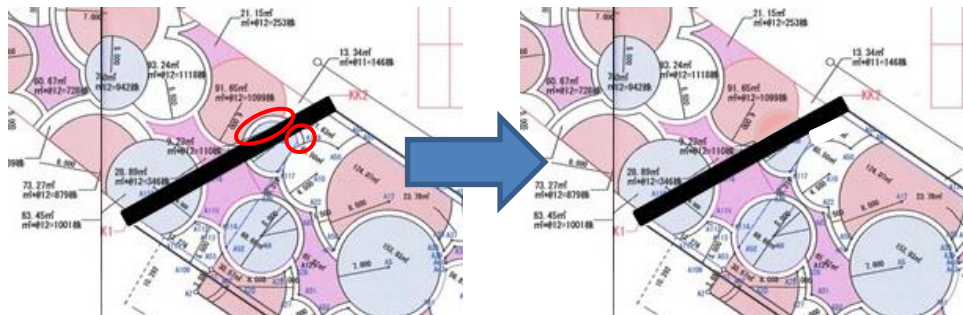
② 十和田湖温泉スキー場芝桜維持管理業務

十和田湖温泉スキー場の芝桜の捕植等を含む維持管理を行った。

① 第2期植栽部分の下端 青色→赤色へ変更植栽



② 第1期植栽部分の上端 通路の一部を削除、白色芝桜を延長



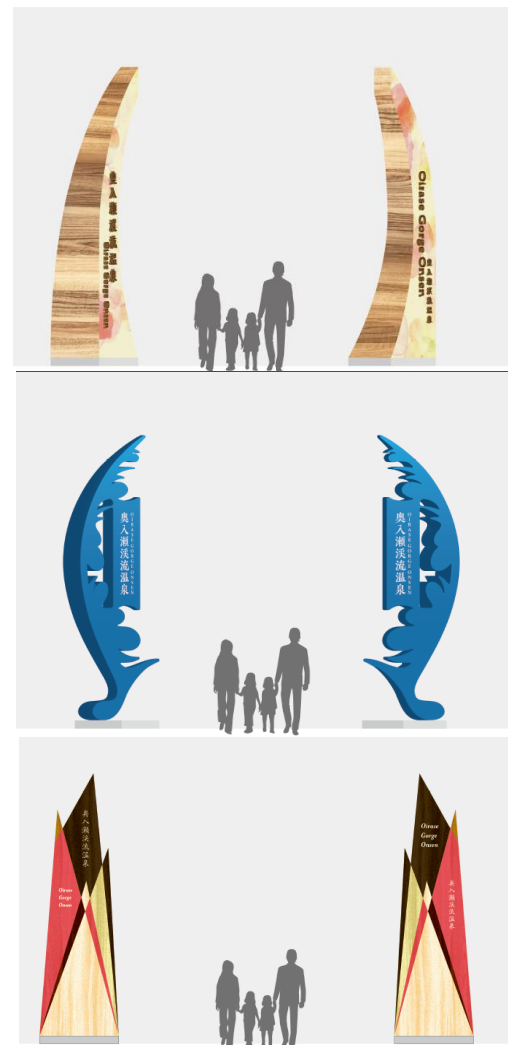
令和元年度の実施事業

③ 十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画策定

十和田湖温泉郷地区の景観形成のためのまちなみ再整備計画を策定。
地域住民との意見交換会では、併せて看板ゲートのデザインについても話し合い、反映した。



意見交換会は3回開催（うち、1回は書面開催）



(参考)意見交換の結果概要図

■全体に係ること

- 国立公園の玄関口であることの活用
- ロゴ・デザインなども国立公園を意識
- 自然・温泉をコンセプトに打ち出し

- 地域の中心へ「シンボル」の設置
- 総合案内所・食事処の整備
(まちの駅整備など)
- 足湯などの整備

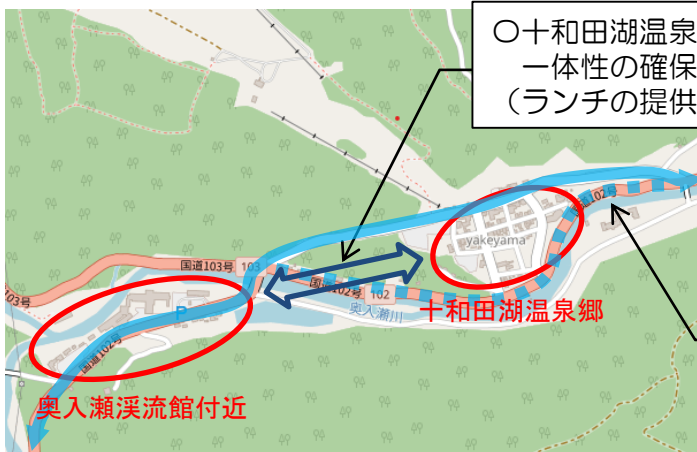
- トイレへの案内板の設置が必要

- ゲート・ロゴのデザインの検討
- 四季ごとのデザイン変更
- 車などからもわかりやすいフォントのデザイン
- 将来的なことも考慮して、シンプルなデザインの検討
- 取り外し可能な設計

- 「花」のスケール感の創出
(ゲートからひまわり畑の整備)



- 十和田湖温泉郷と奥入瀬溪流館付近の一体性の確保・連携強化
(ランチの提供など)



- 十和田湖温泉郷を經由する動線の構築
(国道102号から市道側へ)

■まちなみ整備を進める上での考慮すべき点

- 温泉郷方面への動線を生みだすために、温泉郷周辺やメインストリートに人を呼び込むための「仕掛け」が必要。
- また、地域の魅力を向上させるために、地域内の回遊性の向上が必要。

令和元年度の実施事業

【概要版】十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画

1. 計画の概要

1-1 計画策定の趣旨

○十和田湖温泉郷まちなみ再整備計画(以下、本計画という)は、焼山地区活性化基本計画に示す方針等に基づくとともに、焼山地区活性化基本計画に示す整備方針等を踏まえながら、焼山地区のうち、特に十和田湖温泉郷におけるまちなみ再整備の方針等を示す個別計画であり、本計画においてまちなみ再整備の方針や具体的な事業の概要等について示すことにより、エリア全体において一体的で連続性のあるまちなみ景観を形成することを目的とするものです。

1-2 本計画の対象区域

○本計画の対象区域は、十和田湖温泉郷を対象とします。

1-3 本計画の期間

○本計画の期間は、令和2年度(2020年度)から、主要な事業が完了し事業実施の効果が現れると考えられる令和5年度(2023年度)までの4年間とし、計画の進捗状況や社会情勢の変化等に合わせて、必要に応じて見直しを行うものとします。

1-4 本計画の位置づけ

○本計画は基本計画を上位計画として位置づけ、焼山地区のうち特に十和田湖温泉郷における再整備の方向性等を示す個別計画となります。
○本計画の検討にあたっては、「奥入瀬ビジョン」なども勘案しながら検討を進めます。



図 本計画の位置づけ

2. まちなみ再整備の基本方針

○今後の当該エリアのまちなみ再整備の基本方針を以下のとおり定める。

「まちなみ再整備の基本方針」

国立公園の「玄関口」として “ベースポイント”となる地域づくり

○国立公園の一部である十和田湖・奥入瀬渓流などの「玄関口」として、当該エリアを拠点として、国立公園の散策を楽しむことができるような、人びとのベースポイント(基地拠点)となる地域づくりを行います。

○また、国立公園らしさを感じることができる景観の形成や、一体的で連続性のあるまちなみ整備により、人びとを呼び込み、受け止める地域づくりを行います。

「具体的な取り組みの方向性」

- ◇エリア全体でのデザインの統一
 - 街灯・街路やサインなどエリア全体で統一的なデザインとして整備
- ◇ゲートから連続性のある景観形成
 - 一体的で連続性のある景観を形成
- ◇誘導サイン・案内等の適切な整備
 - 主要な目的地への誘導サイン・総合案内等を整備
- ◇奥入瀬渓流館方面との連携強化
 - 奥入瀬渓流館エリアとの連携を強化
- ◇地域・行政が連携した取り組みの展開
 - 人びとを呼び込む仕掛けの検討

3. 基本方針のイメージ図・事業の実施範囲

○ゲートから十和田湖温泉郷一体のエリアでサイン等、街路・街灯の再整備の検討を進めるとともに、十和田湖温泉郷の中心部において景観整備の検討を進めます。

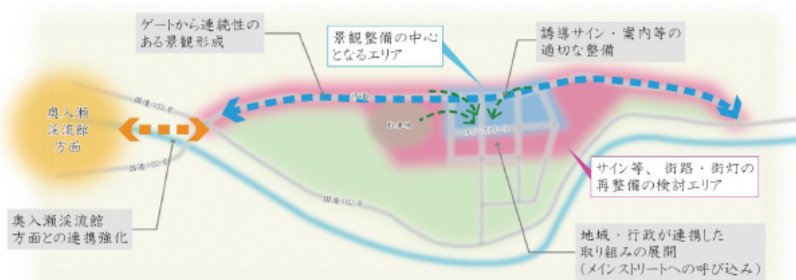


図 まちなみ再整備の基本方針

4. 事業及び実施スケジュール

○各種事業は計画期間内において段階的に実施することを予定します。

「対象事業」

サイン等の整備：地域における総合案内板や施設・設備等の方向を示す誘導サイン等の整備

街路・街灯の整備：一体的で連続性の高いまちなみ景観を形成する街路・街灯の整備

「検討事業」

遊休地・空き家等の活用：空き家・空き地等における地域の活性化に資する取組を検討

表 事業実施スケジュール

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	取組主体
サイン等の整備	設計	設計	設計	設計	市
街路・街灯の整備	設計	設計	設計	設計	市
遊休地・空き家等の活用	調査検討・実施	調査検討・実施	調査検討・実施	調査検討・実施	地域・市

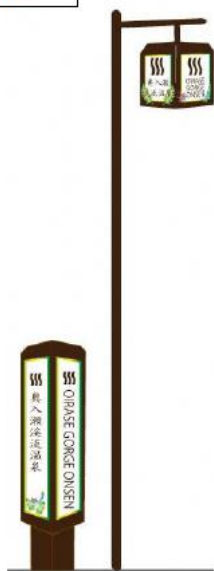
令和元年度の実施事業

5. まちなみ再整備に向けた具体的な事業

○街灯やサインについては、ゲートデザインとの一体性を踏まえて、同様の配色パターン・デザインを活用します。

◆整備イメージ①

街灯



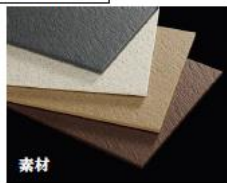
誘導サイン



整備イメージ (全景)



街路



素材



施行イメージ

◆整備イメージ②

街灯



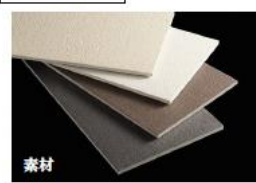
誘導サイン



整備イメージ (全景)



街路



素材



施行イメージ

<関連実績①> 奥入瀬溪流温泉への名称変更

◎「十和田湖温泉郷」から「奥入瀬溪流温泉」への名称変更を地域住民・事業者等で決定

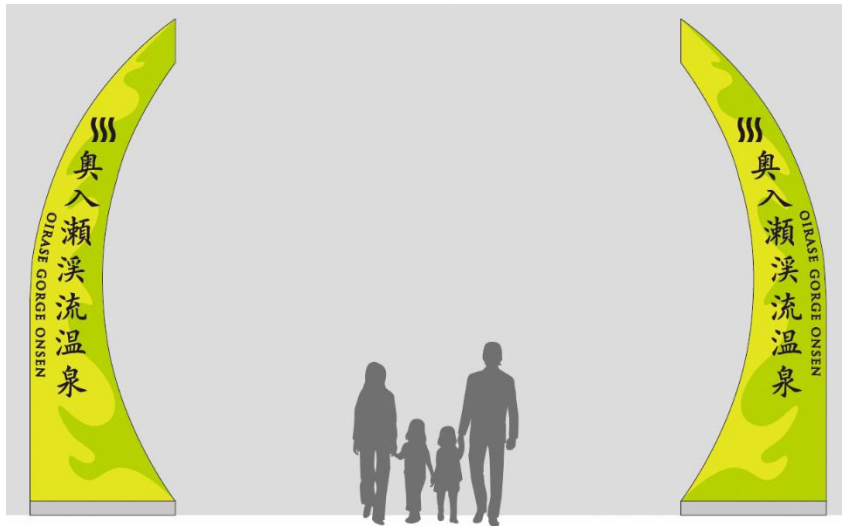


令和2年4月1日から、従来呼称されていた「十和田湖温泉郷」という地域名を「奥入瀬溪流温泉」に変更することを、地域住民(町内会)や事業者等で決定し、記者発表

<関連実績②> 奥入瀬溪流温泉の看板改修

◎奥入瀬溪流温泉入口の既存アーチ看板2基を改修
高さ:4m95cm

新アーチ看板(表)



爽やかで柔らかい新緑の奥入瀬溪流をモチーフにしたデザインです。

明るいグリーンは、厳しい冬に耐え、新たに芽吹く生命の強さと美しさ、波紋は絶えず表情を変える水の流れを表現しています。

奥入瀬観光のランドマークとして、明るく来訪者を迎え入れてほしいという地域の願いが込められています。

新アーチ看板(裏)



奥入瀬溪流に生息するカツラやコケ、シダなどの植物をカラーリングし、色彩豊かな奥入瀬の季節の移ろいを表現したデザインです。

春夏秋冬、四季を通して奥入瀬溪流温泉に来てほしいというメッセージが込められています。

<関連実績③> 奥入瀬溪流温泉のロゴマークが完成



〰〰〰
奥入瀬溪流温泉

〰〰〰
OIRASE GORGE ONSEN

〰〰〰 奥入瀬溪流温泉

〰〰〰 OIRASE GORGE ONSEN

〰〰〰
奥入瀬溪流温泉

〰〰〰
OIRASE GORGE ONSEN

～デザインコンセプト～

十和田湖の決壊による大洪水で形成された奥入瀬溪流。

豊かな樹木や岩に囲まれた溪流の流れは、清らかで美しいだけでなく、水飛沫をあげる大滝や急流の場所があるように強さも併せ持っています。

ロゴマークは、曲線と太いラインで清らかな流れと併せ持つ強さを表現し、刻々と移り変わる時代と地域を取り囲む様々な課題に柔軟にかつ強く向き合っていくという地域の思いが込められています。

また、囲みロゴマークは[ONSEN]と[OIRASE]の頭文字[O]をモチーフに、温泉から湯気がたちのぼる様子を表現し、温泉らしさを前面に押し出したデザインとなっています。

<関連実績④>オリジナルランチボックスの販売

★奥入瀬・十和田湖エリアを訪れる観光客の満足度向上に繋げる取組として、奥入瀬溪流散策時にピクニック感覚で食べられるオリジナルランチボックスを地域事業者と連携して販売！

名 称：奥入瀬コケ弁当

販売価格：税込1,000円

販売場所：奥入瀬エリアの旅館・ホテル

販売時期：令和2年4月下旬から

販売方法：前日17時までの事前予約制で当日朝に各旅館に配達。

販売は、(一社)十和田奥入瀬観光機構で行う。



[お弁当試作品]

焼山地区活性化事業

＜参考＞令和2年度事業費予算

	合計 (千円)	内訳 (千円)	備考
奥入瀬溪流館改修工事	112,700	109,950	改修工事・展示物制作
		2,750	工事監理
十和田湖温泉スキー場活用	10,258	5,401	スキー場活用計画策定
		2,950	芝桜維持管理
		1,907	頂上部北側の立木伐採
十和田湖温泉郷まちなみ再整備	7,700	7,700	再整備計画に基づく基本設計・実施設計
合計	130,658		

成果指標及び達成状況

年	KPI: 焼山・八甲田地区宿泊者数		
	実績値(人泊)	うち外国人宿泊者(人泊)	実績値の前年比
平成26年	◎105,202	5,824	—
平成27年	111,544	7,728	106.0%
平成28年	114,476	11,769	102.6%
平成29年	121,519	18,598	106.2%
平成30年	135,038	29,803	111.0%
令和元年	<u>Ⓐ142,839</u>	<u>36,757</u>	<u>105.8%</u>

令和2年目標値（Ⓑ130,000）に対する達成率（Ⓐ/Ⓑ） = 109.9%

波及効果

(参考) 経済効果の試算

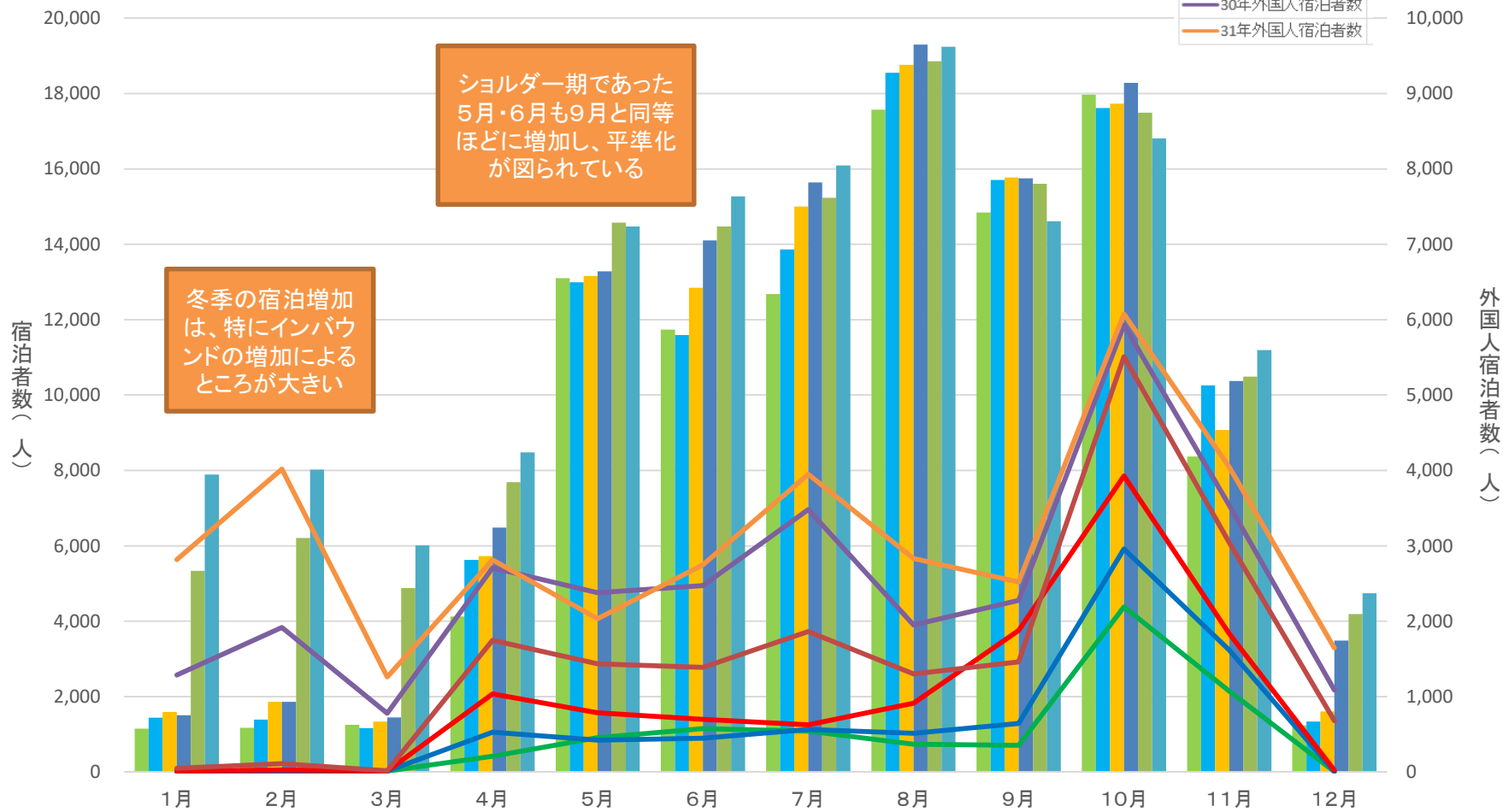
年度	宿泊者数の増加による旅行消費額の増額		
	焼山・八甲田地区 宿泊者数	増加数	旅行消費額 (=経済効果)
平成26年	105,202人泊	—	
令和元年	142,839人泊	37,637人	11億4,608万円

県外客の宿泊単価30,451円(※) × 37,637人 = 1,146,084,287円

※宿泊単価は平成30年青森県観光入込客統計による

関連データ

H26～R1焼山・八甲田地区宿泊者数



関連データ

十和田市の観光地来訪者アンケート2019.実施結果 <奥入瀬溪流の来訪者について(回答者数195名)>

奥入瀬溪流

奥入瀬溪流来訪者(国内)		
エリア	件数	割合
南関東	34	21%
県内	31	19%
東京	27	17%
北東北	16	10%
東海	12	8%
北関東	8	5%
近畿	7	4%
南東北	6	4%
山陽	6	4%
北海道	4	3%
甲信越	4	3%
北陸	4	3%
四国	1	1%
九州	0	0%
山陰	0	0%
沖縄	0	0%
未回答	1	1%
計	161	

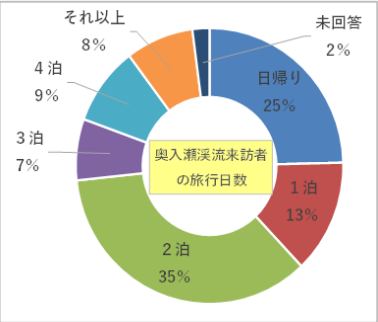
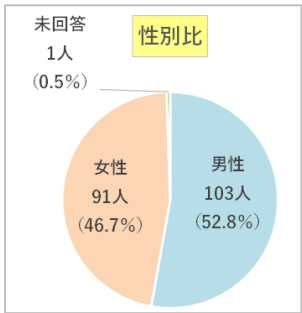
奥入瀬溪流来訪者(海外)		
国名	件数	割合
台湾	20	74%
米国	2	7%
香港	2	7%
イギリス	2	7%
中国	1	4%
在日米軍	1	4%
シンガポール	1	4%
韓国	0	0%
その他	0	0%
未回答	5	0%
計	34	

都道府県	件数	割合
青森県	31	19%
東京都	27	17%
神奈川県	15	9%
秋田県	10	6%
千葉県	10	6%
埼玉県	9	6%
愛知県	7	4%
岩手県	6	4%
宮城県	6	4%
茨城県	5	3%
北海道	4	3%
新潟県	4	3%
群馬県	3	2%
大阪府	3	2%
岡山県	3	2%
富山県	2	1%
岐阜県	2	1%
静岡県	2	1%
兵庫県	2	1%
山口県	2	1%
石川県	1	1%
三重県	1	1%
奈良県	1	1%
滋賀県	1	1%
広島県	1	1%
徳島県	1	1%
熊本県	1	1%
山形県	0	0%
福島県	0	0%
栃木県	0	0%
山梨県	0	0%
長野県	0	0%
福井県	0	0%
京都府	0	0%
和歌山県	0	0%
鳥取県	0	0%
島根県	0	0%
愛媛県	0	0%
香川県	0	0%
高知県	0	0%
福岡県	0	0%
佐賀県	0	0%
大分県	0	0%
長崎県	0	0%
宮崎県	0	0%
鹿児島県	0	0%
沖縄県	0	0%
未回答	1	1%
計	161	

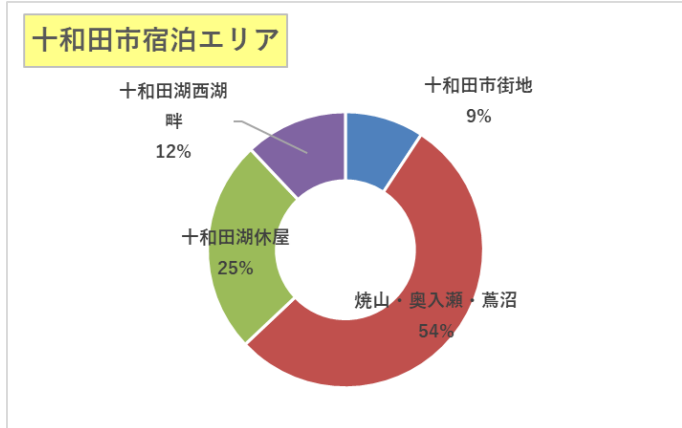
・地域別では南関東、県内、東京、北東北と続き、十和田湖も同じ結果である。
 ・交通手段では新幹線に次ぎ、自家用車やレンタカーの利用客が多い。

誰と	何人で	
	1人で	24人
友達と	25人	
夫婦・カップルで	63人	
家族と	59人	
同僚と	4人	
未回答	20人	
計	195人	

十和田へは今回で何度目の来訪ですか	初めて		50%	
	初めて	97人		
5回目以上	38人	リピーター率		
4回目	4人	人数	リピーター率	
3回目	16人	96人	49%	
2回目	38人			
未回答	2人		1%	
計	195人			



←このうち、宿泊者だけでみると、リピーター率は35%である。



当市を観光で訪れた人の宿泊エリアとしては、焼山・奥入瀬・蔦沼・八甲田エリアが最も多い。